

今週の紙面

全国各地で1DP施工見学会	2面
セメント兼業4~9月期決算	2面
無収縮コンを初適用、竹中工務店ら	3面
特集 生コン記念日	4~12面

コンクリート新聞

THE CONCRETE SHIMBUN

発行所
株式会社コンクリート新聞
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-1-16
新宿
電話 03(5363)9711 FAX03
購読料 年間38,200円

大手5社のセメント部門の2016年4~9月期連結業績

	売上高	営業利益	セメント販売	
			国内	輸出
太平洋セメント	267,030 (▲8.6)	12,357 (▲17.6)	6,921 (▲6.2)	2,023 (5.2)
	566,000 (▲1.5)	38,400 (10.9)	14,510 (▲1.1)	4,526 (13.5)
住友大阪セメント	85,107 (▲6.0)	6,546 (▲7.9)	4,259 (▲2.6)	661 (33.8)
	174,400 (▲3.2)	14,600 (▲11.6)	8,789 (▲0.7)	1,401 (33.3)
三菱マテリアル	83,850 (▲13.5)	7,588 (▲14.9)	3,160 (▲1.9)	1,050 (▲11.8)
	177,000 (▲10.4)	20,400 (3.5)	6,680 (▲1.0)	2,500 (▲5.3)
宇部興産	109,723 (▲7.2)	7,399 (▲24.5)	2,550 (▲7.4)	1,106 (4.2)
	230,000 (▲3.0)	17,500 (▲11.8)		
トクヤマ	39,561 (▲7.0)	3,907 (71.0)	1,385 (▲2.7)	436 (23.2)
	82,000 (▲4.1)	7,500 (28.6)	3,000 (0.7)	900 (30.1)

※上段が16年4~9月期、下段が17年3月期予想。宇部は建設資材部門の業績、三菱の利益は経常利益。単位は百万円、セメント販売は千ト。カッコ内は前年比増減%、▲は減少または赤字。

セメント大手5社の2016年4~9月期連結決算が10日出そろった。売上高は、セメント、金属、化学品など主力製品の数量減を背景に5社とも減収だった。純利益は専業2社とトクヤマが増益を確保した。太平洋セメントは、雙龍セメント株式の売却やデイ・

セメント部門

4社が減収減益に

4~9月期数量減・輸出価格下落

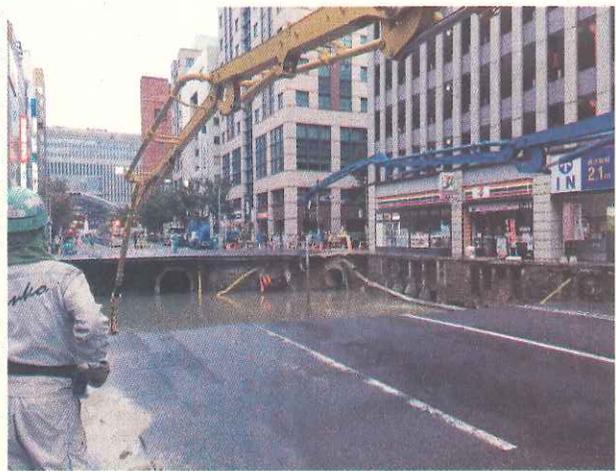
シイの完全子会社化に伴うのれん発生益といった特別利益に加え、雙龍株式売却による税金費用のマイナスイツを更新した。セメント部門の業績はトクヤマを除いた4社で減収減益だった。数量減や輸出価格の下落が響いた。今回の決算発表と同時に住友大阪セメント、三菱マテリアル、トクヤマが17年3月期通期の業績予想を修正した(2面に関連記

海外は増大。太平洋セメントは日発表した4月の連結決算は減収・減益減益。セメントの販賣輸出を10万ト増やした。国内の需要をカバーできず、9%減の899トにとどまった。セメント部門高は国内が1.6千万円と11%減収だった。生コンの減収は11%の影響が11%上った。海外は影響や中国事業が要因となり、%減の851億円となった。営業利益は

8日朝、福岡市のJR博多駅前で発生した大規模な道路陥没事故を受け、コンクリートポンプ車が早期復旧

道路陥没が復旧

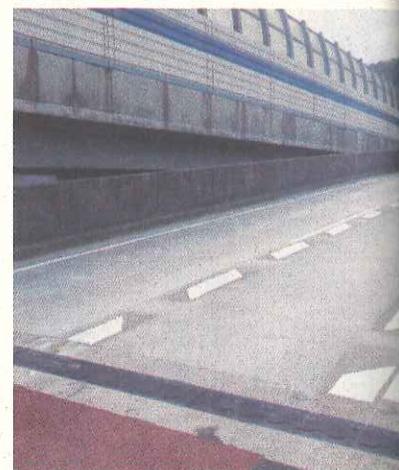
福岡 ミキサ車、ポンプ車が活躍



流動化処理土で埋戻した(九匠連提供)

に活躍した。陥没は幅27m、長さ30m、深さ15mにおよび、同日午後から流動化処理土で埋戻しを開始。福岡地区内の生コン工場からミキサ車が集結した。また、九州匠送事業協同組合連合会傘下福岡佐賀コンクリートポンプ協同組合の組合員5社のポンプ車が出動し、約3500㎡の流動化処理土を圧送した。事故当日から夜を徹して工事が進められ、13日にライフラインが、15日に道路も復旧した。

が全国の生コン対象に実施し、素型コンクリートに関するアンケート。これまでにセメント相当量を高炉炉粉末やフライアッシュなどといった埋置き換えたコンクリートを出荷した。「ある」と答えたのは15.4%だが、この地区で「ある」の回答があり、合が全国平均をたのは北海道近畿(33.3%)、九州(25%)、九州(25%)と西日本に比べている。



天王山古戦橋(セメント)

いる。一方米国では橋面舗装へのコンクリートの採用事例が多く、それを国内でも適用できるか調査するため、土木学会鋼構造委員会道路橋床版の複合劣化に関する調査研究小委員会、セメント協会舗装技術専門委員会、太

クリート(ポリマーコンクリート)を用いた。国内では高速道路の既出荷実績「あ

本紙調査

出荷実績「あ

低炭素コン

が全国の生コン対象に実施し、素型コンクリートに関するアンケート。これまでにセメント相当量を高炉炉粉末やフライアッシュなどといった埋置き換えたコンクリートを出荷した。「ある」と答えたのは15.4%だが、この地区で「ある」の回答があり、合が全国平均をたのは北海道近畿(33.3%)、九州(25%)、九州(25%)と西日本に比べている。